

平成30年度 高等学校等における英語教育実施状況調査【集計結果】

注1) 調査基準日は、指定がない場合、平成30年12月1日現在とする。

注2) 定時制及び通信制の課程はどちらも本調査の対象ではない。
分校がある場合は、分校と本校をまとめて1校とする。

注3) 本調査は、公立高等学校・中等教育学校の後期課程を対象とする。

1. 調査対象学校及び学科について

1-(1) 調査対象学校数

学校数	3,354 校
-----	---------

1-(2) 調査対象学校における学科の数

高等学校設置基準第5条及び第6条の区分により学校に設置されている学科の数を記入

学科の区分	設置数	
①普通科	2,301	①：高等学校設置基準第6条第1項の学科の数 ②：高等学校設置基準第6条第2項第13号の学科のうち、英語教育を主とする学科及び第6条第2項第14号の学科の合計数 ③：高等学校設置基準第5条第2号の学科及び高等学校設置基準第6条第3項の学科の合計
②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	143	
③その他の専門学科及び総合学科	2,170	
総学科数(①～③)	4,614	

2. 生徒の英語力に関すること

2-(1) 生徒の英語力の状況

注1) 「英語能力に関する外部試験」及び「CEFR A2レベル相当以上」に該当するか否かについては、「英語力評価及び入学者選抜における資格・検定試験の活用促進について」(平成27年3月31日付け26文科初第1495号)などの通知や、文部科学省ホームページ(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/_icsFiles/afieldfile/2018/03/26/1402610.pdf)における「資格・検定試験CEFRとの対照表」などを参考にすること。

注2) 「CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数」とは、実際に外部検定試験の級、スコア等は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教師が判断する生徒の人数を指す。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
	高等学校第3学年に所属している生徒数	(ア)のうち、英語能力に関する外部試験を受検したことがある生徒数	(イ)のうちCEFR A2レベル相当以上を取得している生徒数	(ア)のうちCEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数[(ウ)以外]
①普通科	465,213 人	247,145 人	121,683 人	119,723 人
②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	9,300 人	7,460 人	6,011 人	2,415 人
③その他の専門学科及び総合学科	228,867 人	59,024 人	16,428 人	16,669 人
計(①～③)	703,380 人	313,629 人	144,122 人	138,807 人

2-(2) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況

- 注1) 『「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標』とは、英語を使って実際に何をすることができるようになるのか、その能力を技能別に記述したものを指す。
- 注2) 「公表」とは、「学校だより」で紹介したり、学校のホームページに掲載したりなどすることで、生徒、保護者及び地域住民に広く伝えている状態のことを指す。
- 注3) 「達成状況の把握」とは、テスト等の実施により、設定した学習到達目標の達成状況を客観的に把握している状態を指す。

	(ア)	(イ)	(ウ)
	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している学科数	(ア)の内、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学科数	(ア)の内、学習到達目標の達成状況を把握している学科数
①普通科	2,183 学科	991 学科	1,274 学科
②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科	141 学科	74 学科	90 学科
③その他の専門学科及び総合学科	2,057 学科	863 学科	1,184 学科
合計(①～③)	4,381 学科	1,928 学科	2,548 学科

3. 英語を使用する機会の増加に関すること

3-(1) 授業における、生徒の英語による言語活動時間の割合

※「外国語(英語)」の授業において、ペア・ワークやグループ・ワーク等を含めて生徒が英語で言語活動をしている時間の、1単位時間の授業に占める割合(%)

注1) ペア・ワークやグループ・ワーク等とは、生徒間での英語を用いたやり取りを基本とする。

ただし、教師が英語を用いて生徒とやり取りを行う時間等も含めること。

注2) 言語活動とは、現行の高等学校学習指導要領に規定されている言語活動のこと。「話すこと」だけではなく、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の言語活動も含む。

例1:「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

また、聞き手に伝わるように音読する。」「(コミュニケーション英語Ⅰ)の言語活動のイ)

例2:「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。」「(コミュニケーション英語Ⅰ)の言語活動のウ)

注3) 英語担当教師とは、教師免許「外国語」を所有し、かつ調査時点で英語の授業を担当している者(校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師(常勤に限る))を指す。非常勤講師及び臨時的任用の者は除く。(以下、3の(1)～(2)及び4も同様)

注4) 該当学科ごとに、1単位時間(50分)で生徒が英語を用いて言語活動している時間のおおよその割合に当該科目を担当する教師数を記入すること。なお、授業を開設していない場合には記入を要しない。

①普通科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,558	6,632
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,680	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,950	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	444	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,297	6,808
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,631	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,328	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	552	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	821	5,946
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,974	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,253	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	898	

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	911	6,442
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,200	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,364	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	967	

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	961	8,452
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,538	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	3,339	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	1,614	

②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	19	37
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	11	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	7	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	0	

(イ)「総合英語」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	226	464
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	151	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	84	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	3	

(ウ)「異文化理解」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	204	316
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	66	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	37	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	9	

③その他の専門学科及び総合学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	507	4,093
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,508	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,635	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	443	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	415	3,838
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,363	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,591	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	469	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	137	1,318
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	482	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	505	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	194	

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	241	2,305
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	798	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	945	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	321	

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教師数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	124	1,278
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	431	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	481	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	242	

3-(2) 「話すこと」及び「書くこと」における「外国語表現の能力」を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの状況

- 注1) 「実施回数」とは、当該学科・学年の生徒全員を対象としたテストの回数を指す。
 注2) 音読に関するテストは、本調査においては、「読むこと」の技能を評価するものとし、スピーキングテストに含めない。
 注3) ライティングテストは定期考査における出題も含む。ただし、学習指導要領に示す言語活動(例:「コミュニケーション英語Ⅰ」であれば、「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く」)などに沿った出題・評価とし、語彙、語法、文法知識のみを問うような問題は含めない。

①普通科における実施の有無及び実施回数

【本年度実施した、あるいは本年度中にパフォーマンステストを実施する計画が明らかにある場合は、「実施」の欄に「1」を入力する。それ以外は「実施なし」に「1」を入力する。】

	スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施	スピーキングテストのみ実施	ライティングテストのみ実施	両方実施なし	授業を開 設してい ない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	941	503	344	476	37
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	761	440	428	645	27
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	411	199	493	868	330
(エ)「英語表現Ⅰ」	709	197	794	486	115
(オ)「英語表現Ⅱ」	534	66	839	335	527

※上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入。(実施予定を含む)

		(ア) コⅠ	(イ) コⅡ	(ウ) コⅢ	(エ) 英表Ⅰ	(オ) 英表Ⅱ
スピー キング テスト	スピーチ	1,568	1,196	535	922	675
	インタビュー(面接)	1,424	1,078	430	845	367
	プレゼンテーション	1,036	982	435	712	528
	ディスカッション	160	182	181	111	105
	ディベート	109	146	98	98	171
スピーキングテスト総合計		4,297	3,584	1,679	2,688	1,846
ライティングテスト(エッセイ等)		3,550	3,377	2,230	4,714	5,321
その他(※下記に詳細記述)		123	93	18	75	23

※「その他」を選択した学科がある場合、その内容を記述する(同様の内容のものはまとめる)。

--

②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科における実施の有無及び実施回数

	スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施	スピーキングテストのみ実施	ライティングテストのみ実施	両方実施なし	授業を開 設してい ない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	13	2	4	2	122
(イ)「総合英語」	95	10	24	9	5
(ウ)「異文化理解」	85	12	16	13	17

※上記の項目において、実施した場合、次の項目に実施回数を記入(予定を含む)

		(ア) コⅠ	(イ) 総英	(ウ) 異理
スピー キング テスト	スピーチ	27	184	127
	インタビュー(面接)	19	125	67
	プレゼンテーション	27	189	223
	ディスカッション	7	46	42
	ディベート	5	42	50
スピーキングテスト総合計		85	586	509
ライティングテスト(エッセイ等)		61	512	316
その他(※下記に詳細記述)		2	28	15

※「その他」を選択した学科がある場合、その内容を記述する(同様の内容のものはまとめる)。

③その他の専門学科及び総合学科における実施の有無及び実施回数

注) 専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く)が複数ある場合は、それぞれの学科について回答する。例えば、専門教育を主とする学科が2つあり、共に実施の場合は「実施」の欄に「2」と入力し、また、2つの学科が「実施」と「実施なし」の場合はそれぞれの欄に「1」を入力する。

	スピーキングテスト・ライティングテスト 両方実施	スピーキングテストのみ実施	ライティングテストのみ実施	両方実施なし	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	663	520	312	625	50
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	505	387	319	610	349
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	160	79	156	347	1,428
(エ)「英語表現Ⅰ」	423	158	461	368	760
(オ)「英語表現Ⅱ」	174	23	246	151	1,576

※上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入。(実施予定を含む)

注) 学科が複数ある場合は、全ての学科の実施回数の和を入力する。

		(ア) コⅠ	(イ) コⅡ	(ウ) コⅢ	(エ) 英表Ⅰ	(オ) 英表Ⅱ
スピーキングテスト	スピーチ	1,241	918	230	552	283
	インタビュー(面接)	1,343	882	179	506	113
	プレゼンテーション	831	825	197	482	205
	ディスカッション	65	98	71	79	37
	ディベート	31	42	32	42	32
スピーキングテスト総合計		3,511	2,765	709	1,661	670
ライティングテスト(エッセイ等)		2,478	2,070	712	2,351	1,386
その他(※下記に詳細記述)		119	85	12	26	15

※「その他」を選択した学科がある場合、その内容を記述する(同様の内容のものはまとめる)。

4. 英語担当教師の英語力・指導力等に関すること

4-(1) 英語担当教師の英語力の状況

注1) 英語担当教師とは、教師免許「外国語」を所有し、かつ調査時点で英語の授業を担当している者(校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師(常勤に限る))を指す。非常勤講師及び臨時的任用の者は除く。

注2) 「英語能力に関する外部試験」及び「CEFR B2レベル以上」に該当するか否かについては、「英語力評価及び入学者選抜における資格・検定試験の活用促進について」(平成27年3月31日付け26文科初第1495号)などの通知や、文部科学省ホームページ(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/_icsFiles/afieldfile/2018/03/26/1402610.pdf)における「資格・検定試験CEFRとの対照表」などを参考にすること。

(ア)	(イ)	(ウ)
調査対象教師数	(ア)の内、英語能力に関する外部試験を受検した経験のある英語担当教師数	(イ)の内、CEFR B2レベル以上を取得している教師数
22,384 人	19,037 人	15,265 人

4-(2) 授業における英語担当教師の英語使用状況

①普通科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	1,367	6,632
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,867	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	2,398	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	1,100	6,808
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,926	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	2,782	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	659	5,946
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,167	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	3,120	

(エ)「英語表現Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	651	6,442
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,270	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	3,521	

(オ)「英語表現Ⅱ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	586	8,452
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,693	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	5,173	

②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	21	37
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	13	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	3	

(イ)「総合英語」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	229	464
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	170	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	65	

(ウ)「異文化理解」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	203	316
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	87	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	26	

③その他の専門学科及び総合学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	432	4,093
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,615	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	2,046	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	350	3,838
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,530	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	1,958	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	113	1,318
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	547	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	658	

(エ)「英語表現Ⅰ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	198	2,305
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	821	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	1,286	

(オ)「英語表現Ⅱ」

	該当する英語担当教師数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	90	1,278
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	487	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	701	

5. 外国語指導助手(ALT)等の活用状況

注) 各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられるが、本調査における「外国語指導助手(ALT)」とは、英語の授業などで、計画的・継続的に活用している人物を指す。英語以外の外国語を担当するALTは含めないこと。

5-(1) ALT等の活用人数の状況

注1) 人数は、年間の契約人数の総数ではなく、調査基準日時点での人数を回答すること。

注2) 「(a)高等学校におけるALT活用人数」とは、中学校等と兼務している人数も含む。同一のALTが複数の高等学校で活用されている場合は、いずれか1つの学校で1名とカウントすること。

注3) 「(イ)自治体が独自に直接任用しているALT」とは、JETプログラム以外で教育委員会が直接任用契約を結んでいるALTのこと。

注4) 「(ウ)派遣契約によるALT」とは、派遣先(教育委員会)と派遣契約を結んだ派遣元(会社)により派遣されるALTのこと。

注5) 「(エ)請負契約によるALT」とは、注文主(教育委員会)と請負契約を結んだ請負業者(会社)により派遣されるALTのこと。

注6) 「その他のALT等」とは、ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材で、以下の(ア)～(オ)に該当しない者が含まれる(日本人、留学生等も含む)。なお、「その他のALT等(日本人)」とは、第一言語を日本語とする者とし、「その他のALT等(外国人)」とはそれ以外の者とする。

	(a)	(b)	(c)	(d)
	高等学校におけるALT等活用人数	(a)のうち、小学校とのみ兼務するALT等活用人数	(a)のうち、中学校とのみ兼務するALT等活用人数	(a)のうち、小学校及び中学校と兼務するALT等活用人数
(ア)JETプログラムによるALTの人数	1,685人	7人	82人	13人
(イ)自治体が独自に直接任用しているALTの人数	509人	3人	10人	25人
(ウ)派遣契約によるALTの人数	212人	1人	5人	1人
(エ)請負契約によるALTの人数	234人	2人	8人	1人
(オ)上記の他、「補習等のための指導員派遣事業」のうち、高等学校英語で活用している人数	0人	0人	0人	0人
(カ)その他のALT等の人数(日本人)	6人	0人	0人	1人
(キ)その他のALT等の人数(外国人)	148人	2人	2人	11人

5-(2) ALTの任用・契約形態の状況

注1) 複数回答可。

注2) 英語以外の外国語を担当するALTは含まないこと。

注3) 「その他の方法によりALTを活用している自治体の数」には、5-(1)の(オ)～(キ)でALTを活用している学校を設置する自治体の数を回答すること。

	都道府県	指定都市	市区町村
JETプログラムによりALTを任用している自治体の数	42	10	25
独自でALTを直接任用している自治体の数	11	9	20
派遣契約によりALTを活用している自治体の数	5	6	4
請負契約によりALTを活用している自治体の数	6	1	5
その他の方法によりALTを活用している自治体の数	18	6	3

5-(3) 「請負契約」によりALTを活用している自治体における、高等学校に対するALTの活用に関する留意事項の周知状況について

		平成30年4月以降に学校に文書により通知	平成30年4月以降に校長等管理職を対象とする会議で通知の内容を周知	平成30年4月以降に各学校の担当者を対象とする会議で通知の内容を周知	平成30年4月以降に学校へは周知していない
外国語指導助手の請負契約による活用について(業務内容の確認及び外国語会話の実演)(平成26年8月27日26初国教大92号)の内容について	都道府県 指定都市	2	2	6	3
	市区町村	3	0	1	3

5-(4) 「派遣契約」によりALTを活用している自治体における、ALTの労働時間の把握状況について

派遣契約によるALTを活用している教育委員会において、ALTの労働時間の把握状況について、集計する。また、把握していない場合は、その理由をそれぞれ記入すること。

		派遣契約によるALTの労働時間について	労働時間を把握していない理由
都道府県 指定都市	把握している	11	
	把握していない	0	
市区町村	把握している	4	
	把握していない	0	

⇒

5-(5) ALT等の年間活用総授業時数(平成29年度実績)

- 注1) 1単位時間は50分として計算すること。単位時間の計算によって生じた小数点以下は、全て切り捨てて計算すること。
- 注2) (ア)では、各学校の第1学年から第3学年までの全ての学級における外国語(英語)の年間総実施時数の合計を記入すること。
(イ)では、(ア)のうちALT等を活用した総授業時数の合計を記入すること。
- 注3) (ア)には、外国語(英語)の授業以外(例:総合的な学習の時間)の時数は含めないこと。ただし、外国語(英語)に関する選択科目や学校設定科目は含む。

①普通科

(ア)	全ての学年・学級における外国語(英語)の授業の総実施時数の計	7,882,083
(イ)	(ア)の総実施時数の内、ALT(※任用・契約形態は問わない)、留学生や英語に堪能な地域人材等を活用した授業の総実施時数	711,450

②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科

(ア)	全ての学年・学級における外国語(英語)の授業の総実施時数の計	243,395
(イ)	(ア)の総実施時数の内、ALT(※任用・契約形態は問わない)、留学生や英語に堪能な地域人材等を活用した授業の総実施時数	67,131

③その他の専門学科及び総合学科

(ア)	全ての学年・学級における外国語(英語)の授業の総実施時数の計	2,621,455
(イ)	(ア)の総実施時数の内、ALT(※任用・契約形態は問わない)、留学生や英語に堪能な地域人材等を活用した授業の総実施時数	302,554

6. 英語教育に関する小学校・中学校との連携の状況(平成30年度実績)

6-(1) 英語教育に関する小学校・中学校との連携の有無

	連携した(する)	連携しなかった(しない)	合計
英語教育に関する小学校・高等学校の連携	437	2,917	3,354
英語教育に関する中学校・高等学校の連携	1,011	2,343	3,354

6-(2) 英語教育に関する小学校・中学校との連携の取組内容

【(1)で「実施した(する)」と回答した学校のみ回答。該当する欄に、「学校数」を入力する。複数回答可。】

情報交換(指導方法等についての検討会、合同研修の実施等)	624
交流(異校種の授業参観、高等学校の外国語担当教員による小学校や中学校での授業等)	930
その他(以下に具体的に記入)	160

※「その他」を選択した学校は、その内容を記述する(同様の内容のものはまとめる)。

--

7. 英語の授業におけるICT機器の活用状況(平成30年度実績)

7-(1) 英語の授業におけるICT機器活用の有無

平成30年度実績	活用した(する)	活用しなかった(しない)
	2,971	383

(1)の平成30年度実績で、「活用した」と回答した学校のみ(2)に回答する。

7-(2) 外国語(英語)教育に係る授業におけるICT機器の活用状況

		(a)	(b)	(c)	(d)
		積極的に活用した(する)	時々活用した(する)	ほとんど活用しない	全く活用しない
(ア)	教師がデジタル教材等を活用した授業	1,383	1,331	161	96
(イ)	生徒がパソコン等を用いて発表や話すことにおけるやり取りをする活動	250	915	598	1,208
(ウ)	生徒が発話や発音などを録音・録画する活動	116	648	679	1,528
(エ)	生徒がキーボード入力等で書く活動	133	558	539	1,741
(オ)	生徒が電子メールやSNSを用いたやり取りをする活動	33	143	399	2,396
(カ)	生徒が遠隔地の児童生徒等と英語で話をして交流する活動	27	114	200	2,630
(キ)	遠隔地の教師やALT等とチームティーチングを行う授業	89	130	178	2,574
(ク)	生徒が遠隔地の英語に堪能な人と個別に会話を行う活動	35	76	182	2,678

生徒の英語力の状況(高等学校)

(H30. 12. 1現在)

	(a)第3学年に所属している生徒数	(b)英語能力に関する外部試験を受検したことがある生徒数		(c)CEFR A2レベル相当以上を取得している生徒数		(d)CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数【(c)以外】		(e)CEFR A2レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる生徒数【(c)+(d)】	
	(人)	(人)	(b/a %)	(人)	(c/a %)	(人)	(d/a %)	(人)	(c+d/a %)
1 北海道	30,875	13,602	44.1%	5,686	18.4%	6,493	21.0%	12,179	39.4%
2 青森県	8,265	3,827	46.3%	2,238	27.1%	1,197	14.5%	3,435	41.6%
3 岩手県	8,957	5,177	57.8%	1,814	20.3%	1,593	17.8%	3,407	38.0%
4 宮城県	14,240	5,340	37.5%	1,792	12.6%	2,635	18.5%	4,427	31.1%
5 秋田県	7,021	6,994	99.6%	1,919	27.3%	1,822	26.0%	3,741	53.3%
6 山形県	6,962	3,683	52.9%	1,354	19.4%	1,651	23.7%	3,005	43.2%
7 福島県	13,419	5,796	43.2%	2,244	16.7%	2,076	15.5%	4,320	32.2%
8 茨城県	18,070	8,806	48.7%	4,337	24.0%	3,081	17.1%	7,418	41.1%
9 栃木県	11,661	5,197	44.6%	2,175	18.7%	2,071	17.8%	4,246	36.4%
10 群馬県	12,705	7,078	55.7%	3,672	28.9%	1,442	11.3%	5,114	40.3%
11 埼玉県	39,555	15,556	39.3%	7,647	19.3%	4,929	12.5%	12,576	31.8%
12 千葉県	33,586	14,215	42.3%	7,162	21.3%	6,574	19.6%	13,736	40.9%
13 東京都	41,394	20,011	48.3%	10,173	24.6%	7,809	18.9%	17,982	43.4%
14 神奈川県	42,466	16,951	39.9%	7,723	18.2%	12,021	28.3%	19,744	46.5%
15 新潟県	14,519	6,436	44.3%	2,613	18.0%	2,531	17.4%	5,144	35.4%
16 富山県	6,913	3,007	43.5%	1,908	27.6%	1,879	27.2%	3,787	54.8%
17 石川県	7,464	4,647	62.3%	2,371	31.8%	1,024	13.7%	3,395	45.5%
18 福井県	5,097	3,330	65.3%	1,765	34.6%	1,089	21.4%	2,854	56.0%
19 山梨県	5,814	2,791	48.0%	1,373	23.6%	798	13.7%	2,171	37.3%
20 長野県	14,774	7,097	48.0%	3,135	21.2%	2,498	16.9%	5,633	38.1%
21 岐阜県	14,035	6,114	43.6%	2,262	16.1%	3,076	21.9%	5,338	38.0%
22 静岡県	21,251	10,140	47.7%	5,067	23.8%	4,441	20.9%	9,508	44.7%
23 愛知県	43,767	14,034	32.1%	5,471	12.5%	9,296	21.2%	14,767	33.7%
24 三重県	12,437	4,355	35.0%	2,737	22.0%	2,071	16.7%	4,808	38.7%
25 滋賀県	9,963	3,944	39.6%	1,664	16.7%	1,985	19.9%	3,649	36.6%
26 京都府	12,461	6,541	52.5%	2,876	23.1%	1,952	15.7%	4,828	38.7%
27 大阪府	42,315	14,867	35.1%	6,313	14.9%	10,801	25.5%	17,114	40.4%
28 兵庫県	33,043	13,989	42.3%	6,572	19.9%	9,419	28.5%	15,991	48.4%
29 奈良県	8,582	3,082	35.9%	1,230	14.3%	1,529	17.8%	2,759	32.1%
30 和歌山県	7,000	3,622	51.7%	885	12.6%	1,629	23.3%	2,514	35.9%
31 鳥取県	3,688	2,072	56.2%	692	18.8%	537	14.6%	1,229	33.3%
32 島根県	4,754	2,404	50.6%	1,179	24.8%	406	8.5%	1,585	33.3%
33 岡山県	11,794	5,704	48.4%	3,290	27.9%	2,080	17.6%	5,370	45.5%
34 広島県	14,948	7,489	50.1%	3,357	22.5%	3,123	20.9%	6,480	43.4%
35 山口県	7,767	2,443	31.5%	1,201	15.5%	1,776	22.9%	2,977	38.3%
36 徳島県	5,938	2,418	40.7%	1,172	19.7%	1,490	25.1%	2,662	44.8%
37 香川県	6,568	1,912	29.1%	816	12.4%	1,610	24.5%	2,426	36.9%
38 愛媛県	8,740	3,642	41.7%	2,293	26.2%	1,325	15.2%	3,618	41.4%
39 高知県	4,120	1,649	40.0%	821	19.9%	532	12.9%	1,353	32.8%
40 福岡県	24,364	13,207	54.2%	6,091	25.0%	4,181	17.2%	10,272	42.2%
41 佐賀県	6,154	2,933	47.7%	1,848	30.0%	431	7.0%	2,279	37.0%
42 長崎県	8,330	4,352	52.2%	2,175	26.1%	1,162	13.9%	3,337	40.1%
43 熊本県	9,867	5,186	52.6%	2,354	23.9%	1,465	14.8%	3,819	38.7%
44 大分県	7,168	3,400	47.4%	1,720	24.0%	1,420	19.8%	3,140	43.8%
45 宮崎県	7,045	4,435	63.0%	2,061	29.3%	751	10.7%	2,812	39.9%
46 鹿児島県	9,948	4,811	48.4%	2,412	24.2%	1,276	12.8%	3,688	37.1%
47 沖縄県	13,576	5,343	39.4%	2,462	18.1%	3,830	28.2%	6,292	46.3%
合計	703,380	313,629	44.6%	144,122	20.5%	138,807	19.7%	282,929	40.2%
(H29年度実績値)	708,911	252,593	35.6%	106,666	15.0%	172,099	24.3%	278,765	39.3%
(対前年度増減)	▲ 5,531	61,036	9.0%	37,456	2.0%	▲ 33,292	▲ 4.6%	4,164	0.9%

※「英語能力に関する外部試験」及び「CEFR A2レベル相当以上」に該当するか否かについては、「英語力評価及び入学者選抜における資格・検定試験の活用促進について」(平成27年3月31日付け26文科初第1495号)などの通知や、文部科学省ホームページ(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/_icsFiles/afieldfile/2018/03/26/1402610.pdf)における「資格・検定試験CEFRとの対照表」などを参考としている。

「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の設定状況等(高等学校)

(H30.12.1現在)

	(a)学科総数	(b)「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標を設定している学科		(c)学習到達目標を公表している学科		(d)学習到達目標の達成状況を把握している学科	
		(学科数)	(b/a %)	(学科数)	(c/a %)	(学科数)	(d/a %)
1 北海道	260	257	98.8%	113	43.5%	177	68.1%
2 青森県	65	65	100.0%	29	44.6%	38	58.5%
3 岩手県	84	84	100.0%	39	46.4%	71	84.5%
4 宮城県	96	96	100.0%	38	39.6%	93	96.9%
5 秋田県	72	72	100.0%	72	100.0%	37	51.4%
6 山形県	64	64	100.0%	28	43.8%	33	51.6%
7 福島県	106	106	100.0%	22	20.8%	38	35.8%
8 茨城県	121	92	76.0%	23	19.0%	43	35.5%
9 栃木県	86	86	100.0%	16	18.6%	38	44.2%
10 群馬県	83	83	100.0%	28	33.7%	50	60.2%
11 埼玉県	187	187	100.0%	40	21.4%	74	39.6%
12 千葉県	187	168	89.8%	46	24.6%	89	47.6%
13 東京都	192	89	46.4%	38	19.8%	61	31.8%
14 神奈川県	187	183	97.9%	71	38.0%	94	50.3%
15 新潟県	98	98	100.0%	26	26.5%	40	40.8%
16 富山県	63	63	100.0%	29	46.0%	27	42.9%
17 石川県	53	53	100.0%	15	28.3%	32	60.4%
18 福井県	43	43	100.0%	9	20.9%	22	51.2%
19 山梨県	41	41	100.0%	17	41.5%	24	58.5%
20 長野県	111	111	100.0%	18	16.2%	31	27.9%
21 岐阜県	95	95	100.0%	33	34.7%	55	57.9%
22 静岡県	126	126	100.0%	45	35.7%	81	64.3%
23 愛知県	201	201	100.0%	29	14.4%	79	39.3%
24 三重県	80	80	100.0%	79	98.8%	55	68.8%
25 滋賀県	51	51	100.0%	6	11.8%	19	37.3%
26 京都府	86	55	64.0%	26	30.2%	29	33.7%
27 大阪府	203	183	90.1%	171	84.2%	171	84.2%
28 兵庫県	207	196	94.7%	152	73.4%	98	47.3%
29 奈良県	55	55	100.0%	11	20.0%	25	45.5%
30 和歌山県	52	52	100.0%	21	40.4%	39	75.0%
31 鳥取県	32	32	100.0%	32	100.0%	12	37.5%
32 島根県	49	49	100.0%	41	83.7%	37	75.5%
33 岡山県	85	85	100.0%	12	14.1%	40	47.1%
34 広島県	105	105	100.0%	103	98.1%	101	96.2%
35 山口県	79	79	100.0%	32	40.5%	36	45.6%
36 徳島県	51	51	100.0%	25	49.0%	32	62.7%
37 香川県	50	50	100.0%	9	18.0%	20	40.0%
38 愛媛県	73	73	100.0%	27	37.0%	35	47.9%
39 高知県	40	40	100.0%	35	87.5%	30	75.0%
40 福岡県	147	134	91.2%	133	90.5%	134	91.2%
41 佐賀県	47	47	100.0%	39	83.0%	44	93.6%
42 長崎県	75	75	100.0%	16	21.3%	37	49.3%
43 熊本県	88	88	100.0%	38	43.2%	63	71.6%
44 大分県	63	63	100.0%	18	28.6%	39	61.9%
45 宮崎県	62	62	100.0%	29	46.8%	37	59.7%
46 鹿児島県	127	127	100.0%	33	26.0%	47	37.0%
47 沖縄県	86	86	100.0%	16	18.6%	41	47.7%
合計	4,614	4,381	95.0%	1,928	41.8%	2,548	55.2%
(H29年度実績値)	4,713	4,454	94.5%	1,854	39.3%	2,447	51.9%
(対前年度増減)	▲ 99	▲ 73	0.4%	74	2.4%	101	3.3%

授業における生徒の英語による言語活動時間の状況(高等学校)

(H30. 12. 1現在)

	普通科		英語教育を主とする学科及び 国際関係に関する学科		その他の専門学科及び 総合学科	
	50%程度以上 ～75%程度未満	75%程度以上～	50%程度以上 ～75%程度未満	75%程度以上～	50%程度以上 ～75%程度未満	75%程度以上～
1 北海道	45.0%	29.9%	0.0%	100.0%	50.1%	24.3%
2 青森県	29.6%	9.3%	30.8%	69.2%	32.7%	2.0%
3 岩手県	46.8%	26.0%			48.7%	20.3%
4 宮城県	30.4%	19.7%	61.5%	30.8%	30.5%	7.8%
5 秋田県	37.7%	7.4%	50.0%	50.0%	32.5%	8.9%
6 山形県	33.2%	28.4%	28.6%	71.4%	32.1%	11.2%
7 福島県	33.8%	9.5%	46.7%	20.0%	38.2%	7.1%
8 茨城県	31.5%	8.3%	11.1%	88.9%	26.1%	2.9%
9 栃木県	32.3%	9.1%			28.4%	2.3%
10 群馬県	42.6%	18.0%	20.0%	33.3%	55.9%	7.7%
11 埼玉県	29.4%	9.1%	34.7%	46.9%	36.3%	9.0%
12 千葉県	28.1%	18.7%	7.1%	87.5%	36.8%	11.0%
13 東京都	31.0%	18.7%	3.8%	46.2%	29.5%	18.7%
14 神奈川県	36.3%	20.0%	26.1%	73.9%	34.4%	19.5%
15 新潟県	32.5%	10.1%	15.2%	63.6%	27.4%	6.2%
16 富山県	32.0%	23.2%	46.9%	46.9%	49.1%	14.0%
17 石川県	38.3%	6.1%			40.4%	9.6%
18 福井県	29.8%	20.3%	18.8%	68.8%	26.1%	24.3%
19 山梨県	33.0%	19.9%	0.0%	100.0%	51.1%	10.8%
20 長野県	33.8%	6.3%	25.0%	42.9%	35.2%	7.0%
21 岐阜県	45.3%	23.1%	100.0%	0.0%	43.4%	20.1%
22 静岡県	36.9%	12.5%	7.4%	81.5%	37.7%	14.0%
23 愛知県	24.0%	13.2%	0.0%	95.2%	23.1%	7.4%
24 三重県	28.3%	6.8%	40.6%	46.9%	33.5%	7.3%
25 滋賀県	24.0%	14.3%			26.2%	9.1%
26 京都府	23.1%	10.6%	100.0%	0.0%	25.2%	18.5%
27 大阪府	27.9%	17.5%	30.1%	45.1%	29.9%	10.8%
28 兵庫県	64.0%	24.9%	26.5%	58.8%	59.1%	18.3%
29 奈良県	36.5%	14.3%	5.0%	95.0%	16.5%	13.5%
30 和歌山県	47.6%	14.6%	70.0%	20.0%	46.7%	13.0%
31 鳥取県	32.7%	24.4%			33.3%	1.1%
32 島根県	29.7%	13.9%	66.7%	0.0%	15.9%	0.8%
33 岡山県	59.9%	20.7%	75.0%	25.0%	63.3%	12.7%
34 広島県	38.0%	19.7%	50.0%	50.0%	30.7%	4.4%
35 山口県	30.1%	11.9%	22.2%	66.7%	32.3%	5.7%
36 徳島県	38.6%	20.1%	0.0%	100.0%	37.3%	9.5%
37 香川県	29.9%	8.6%	20.0%	20.0%	26.7%	2.8%
38 愛媛県	46.1%	16.1%			46.0%	9.1%
39 高知県	30.3%	17.3%	40.0%	60.0%	33.8%	12.0%
40 福岡県	28.6%	10.7%	11.1%	55.6%	26.5%	8.2%
41 佐賀県	25.6%	36.0%			50.8%	5.5%
42 長崎県	39.5%	14.3%	47.1%	29.4%	29.8%	11.6%
43 熊本県	34.4%	17.8%	0.0%	100.0%	37.7%	6.1%
44 大分県	39.2%	14.3%	100.0%	0.0%	31.6%	2.3%
45 宮崎県	25.3%	19.6%			29.6%	13.0%
46 鹿児島県	40.5%	7.8%			24.5%	1.3%
47 沖縄県	39.7%	16.2%	50.0%	38.1%	23.8%	14.5%
平均	35.1%	16.2%	27.9%	55.0%	35.7%	11.1%
(H29年度実績値)	26.8%	14.4%	27.4%	55.7%	33.5%	10.8%
(対前年度増減)	8.3%	1.8%	0.5%	▲0.7%	2.2%	0.3%

「話すこと」及び「書くこと」における「外国語表現の能力」を評価するための
スピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの状況(高等学校)

(H30.12.1現在)

	スピーキングテスト・ライティングテスト両方実施した割合												
	普通科					英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科			その他の専門学科及び総合学科				
	コミュⅠ	コミュⅡ	コミュⅢ	英表Ⅰ	英表Ⅱ	コミュⅠ	総英	異文化理解	コミュⅠ	コミュⅡ	コミュⅢ	英表Ⅰ	英表Ⅱ
1 北海道	64.1%	60.1%	48.1%	56.5%	60.0%		100.0%	100.0%	53.5%	51.6%	50.0%	56.7%	66.7%
2 青森県	30.3%	27.3%	13.0%	21.2%	22.6%	0.0%	66.7%	66.7%	20.7%	18.5%	0.0%	13.3%	28.6%
3 岩手県	60.0%	65.0%	54.5%	52.5%	72.2%				76.2%	67.6%	81.8%	56.3%	73.3%
4 宮城県	64.6%	50.0%	41.9%	50.0%	56.5%		100.0%	50.0%	41.3%	44.2%	53.3%	36.4%	41.2%
5 秋田県	40.5%	35.1%	23.1%	27.0%	30.0%	0.0%	0.0%	33.3%	18.8%	25.8%	0.0%	22.7%	35.7%
6 山形県	56.5%	56.5%	19.0%	30.4%	35.0%		66.7%		28.6%	37.1%	10.0%	43.8%	38.9%
7 福島県	46.8%	26.1%	8.0%	20.9%	6.5%	0.0%	50.0%	33.3%	26.4%	26.1%	23.1%	18.2%	28.6%
8 茨城県	18.6%	23.2%	15.5%	20.0%	22.4%	0.0%	50.0%	50.0%	14.9%	23.3%	13.3%	0.0%	0.0%
9 栃木県	21.1%	13.2%	2.9%	17.1%	6.1%				12.5%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%
10 群馬県	56.8%	47.7%	11.8%	30.2%	29.4%		100.0%	100.0%	31.4%	31.0%	33.3%	32.0%	16.7%
11 埼玉県	20.4%	14.6%	6.2%	11.2%	20.0%	50.0%	55.6%	77.8%	15.3%	15.4%	11.1%	12.8%	9.1%
12 千葉県	30.6%	28.3%	25.0%	34.3%	28.6%		71.4%	83.3%	22.9%	23.2%	13.8%	25.6%	25.0%
13 東京都	48.5%	37.2%	27.1%	27.4%	29.7%	50.0%	50.0%	100.0%	26.7%	29.6%	16.0%	41.5%	57.1%
14 神奈川県	38.0%	38.0%	26.5%	42.9%	46.2%		100.0%	25.0%	38.5%	41.7%	44.8%	46.2%	40.0%
15 新潟県	15.1%	13.0%	13.2%	26.0%	23.9%	100.0%	75.0%	25.0%	32.5%	29.7%	25.0%	28.1%	40.0%
16 富山県	55.6%	48.1%	18.5%	37.0%	45.8%	100.0%	80.0%	75.0%	54.8%	28.6%	18.2%	55.0%	50.0%
17 石川県	73.1%	57.7%	28.0%	46.2%	41.7%				40.7%	40.0%	22.2%	20.8%	14.3%
18 福井県	62.5%	50.0%	12.5%	46.7%	64.3%	100.0%	66.7%	66.7%	54.5%	47.4%	25.0%	71.4%	0.0%
19 山梨県	52.6%	52.6%	31.6%	36.8%	36.8%		100.0%	100.0%	52.4%	75.0%	70.0%	46.7%	50.0%
20 長野県	17.9%	16.1%	6.1%	11.5%	8.1%		28.6%	71.4%	12.5%	10.6%	0.0%	14.3%	27.3%
21 岐阜県	39.5%	31.6%	6.7%	31.6%	26.5%		0.0%	100.0%	28.6%	23.6%	31.6%	27.3%	30.0%
22 静岡県	60.7%	45.9%	28.6%	48.4%	38.5%		75.0%	100.0%	50.0%	51.8%	32.1%	50.9%	50.0%
23 愛知県	27.5%	22.9%	9.7%	30.3%	21.7%	0.0%	25.0%	75.0%	18.6%	19.1%	11.1%	29.9%	33.3%
24 三重県	19.4%	9.7%	8.7%	32.1%	35.0%		75.0%	100.0%	24.4%	8.1%	14.3%	28.6%	11.1%
25 滋賀県	20.0%	20.0%	10.3%	27.6%	11.1%				4.8%	0.0%	0.0%	22.2%	25.0%
26 京都府	34.1%	20.5%	20.9%	25.6%	35.0%	100.0%			19.5%	21.1%	29.6%	27.6%	33.3%
27 大阪府	42.4%	24.0%	13.5%	23.4%	14.3%	66.7%	76.9%	61.5%	29.6%	21.8%	33.3%	27.0%	27.8%
28 兵庫県	45.1%	25.5%	14.0%	15.7%	12.8%	100.0%	85.7%	80.0%	28.0%	16.7%	14.0%	15.4%	12.1%
29 奈良県	50.0%	36.0%	19.0%	16.0%	20.0%		50.0%	100.0%	34.6%	21.1%	9.1%	10.0%	11.1%
30 和歌山県	22.7%	36.4%	19.0%	38.1%	33.3%		50.0%	50.0%	17.9%	30.4%	14.3%	23.1%	28.6%
31 鳥取県	20.0%	10.0%	22.2%	50.0%	20.0%				38.1%	21.1%	0.0%	23.5%	25.0%
32 島根県	27.3%	9.1%	10.0%	50.0%	14.3%		0.0%	0.0%	30.8%	19.0%	23.1%	53.8%	22.2%
33 岡山県	53.3%	26.7%	17.9%	20.0%	20.7%		0.0%	0.0%	25.9%	17.4%	0.0%	16.1%	0.0%
34 広島県	91.9%	35.5%	20.3%	36.7%	32.1%	100.0%	100.0%	100.0%	87.8%	23.7%	16.7%	19.2%	23.1%
35 山口県	37.9%	36.7%	20.0%	37.9%	33.3%		75.0%	50.0%	25.6%	16.1%	15.4%	27.6%	33.3%
36 徳島県	40.0%	40.0%	38.9%	20.0%	33.3%		100.0%	100.0%	48.3%	29.2%	27.3%	26.1%	0.0%
37 香川県	38.9%	33.3%	5.9%	38.9%	11.1%		100.0%	0.0%	16.1%	18.5%	0.0%	34.6%	15.4%
38 愛媛県	44.7%	39.5%	24.3%	34.2%	48.6%				31.4%	32.1%	40.0%	32.1%	63.6%
39 高知県	61.1%	55.6%	42.9%	61.1%	66.7%		100.0%		47.4%	43.8%	40.0%	50.0%	14.3%
40 福岡県	27.8%	23.3%	10.6%	23.6%	24.6%	100.0%	80.0%	80.0%	20.6%	22.6%	10.0%	24.4%	25.0%
41 佐賀県	50.0%	56.3%	42.9%	31.3%	40.0%				60.0%	75.0%	40.0%	70.6%	50.0%
42 長崎県	21.2%	30.3%	30.0%	37.5%	20.7%		66.7%	33.3%	23.7%	21.6%	7.7%	7.7%	0.0%
43 熊本県	38.2%	32.4%	12.9%	25.7%	16.7%		100.0%	100.0%	28.6%	31.9%	7.1%	8.8%	16.7%
44 大分県	62.5%	45.8%	21.7%	33.3%	29.2%		100.0%	100.0%	26.3%	25.0%	9.1%	13.6%	0.0%
45 宮崎県	27.8%	38.9%	27.8%	44.4%	25.0%				35.7%	36.1%	25.0%	60.9%	50.0%
46 鹿児島県	47.5%	43.6%	19.4%	43.6%	35.3%				20.0%	16.0%	14.3%	24.3%	30.0%
47 沖縄県	40.0%	37.1%	39.4%	60.0%	62.5%		100.0%	80.0%	32.6%	37.9%	50.0%	57.7%	100.0%
H30年度全体割合	41.6%	33.5%	20.9%	32.4%	30.1%	61.9%	68.8%	67.5%	31.3%	27.7%	21.6%	30.0%	29.3%

英語担当教師の英語力の状況(高等学校)

(H30. 12. 1現在)

	(a)調査対象教師数	(b)英語能力に関する外部試験を受検した経験のある英語担当教師数		(c)CEFR B2レベル以上を取得している教師数	
		(人)	(b/a %)	(人)	(c/a %)
1 北海道	1,067	838	78.5%	555	52.0%
2 青森県	267	259	97.0%	195	73.0%
3 岩手県	297	238	80.1%	169	56.9%
4 宮城県	457	323	70.7%	232	50.8%
5 秋田県	228	187	82.0%	133	58.3%
6 山形県	224	185	82.6%	135	60.3%
7 福島県	424	307	72.4%	209	49.3%
8 茨城県	639	572	89.5%	468	73.2%
9 栃木県	355	294	82.8%	236	66.5%
10 群馬県	406	359	88.4%	291	71.7%
11 埼玉県	1,152	834	72.4%	627	54.4%
12 千葉県	1,026	822	80.1%	534	52.0%
13 東京都	1,416	1,213	85.7%	1,054	74.4%
14 神奈川県	1,297	1,095	84.4%	892	68.8%
15 新潟県	494	418	84.6%	336	68.0%
16 富山県	219	206	94.1%	181	82.6%
17 石川県	248	246	99.2%	224	90.3%
18 福井県	163	160	98.2%	149	91.4%
19 山梨県	193	160	82.9%	138	71.5%
20 長野県	464	432	93.1%	380	81.9%
21 岐阜県	394	361	91.6%	319	81.0%
22 静岡県	643	540	84.0%	435	67.7%
23 愛知県	1,360	1,092	80.3%	864	63.5%
24 三重県	334	282	84.4%	232	69.5%
25 滋賀県	312	274	87.8%	208	66.7%
26 京都府	479	384	80.2%	309	64.5%
27 大阪府	1,494	1,239	82.9%	963	64.5%
28 兵庫県	1,139	1,064	93.4%	867	76.1%
29 奈良県	270	224	83.0%	157	58.1%
30 和歌山県	207	174	84.1%	119	57.5%
31 鳥取県	119	116	97.5%	116	97.5%
32 島根県	172	125	72.7%	96	55.8%
33 岡山県	355	338	95.2%	304	85.6%
34 広島県	461	414	89.8%	361	78.3%
35 山口県	265	211	79.6%	185	69.8%
36 徳島県	179	167	93.3%	154	86.0%
37 香川県	207	195	94.2%	176	85.0%
38 愛媛県	275	257	93.5%	227	82.5%
39 高知県	135	132	97.8%	95	70.4%
40 福岡県	718	641	89.3%	516	71.9%
41 佐賀県	180	173	96.1%	157	87.2%
42 長崎県	269	232	86.2%	201	74.7%
43 熊本県	296	284	95.9%	255	86.1%
44 大分県	234	211	90.2%	181	77.4%
45 宮崎県	175	168	96.0%	155	88.6%
46 鹿児島県	308	245	79.5%	190	61.7%
47 沖縄県	368	346	94.0%	285	77.4%
合計	22,384	19,037	85.0%	15,265	68.2%
(H29年度実績値)	22,948	19,017	82.9%	15,018	65.4%
(対前年度増減)	▲ 564	20	2.1%	247	2.8%

※「英語能力に関する外部試験」及び「CEFR B2レベル以上」に該当するか否かについては、「英語力評価及び入学者選抜における資格・検定試験の活用促進について」(平成27年3月31日付け26文科初第1495号)などの通知や、文部科学省ホームページ(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/30/03/_icsFiles/afieldfile/2018/03/26/1402610.pdf)における「資格・検定試験CEFRとの対照表」などを参考としている。

授業における英語担当教師の英語使用状況(高等学校)

(H30. 12. 1現在)

	普通科		英語教育を主とする学科及び 国際関係に関する学科		その他の専門学科及び 総合学科	
	発話の50%程度以上～75%程度 未満を英語で行っている教師	発話の75%程度以上を英語で 行っている教師	発話の50%程度以上75%程度未 満を英語で行っている教師	発話の75%程度以上を英語で 行っている教師	発話の50%程度以上75%程度未 満を英語で行っている教師	発話の75%程度以上を英語で 行っている教師
1 北海道	54.4%	26.4%	0.0%	100.0%	66.3%	13.6%
2 青森県	26.1%	10.1%	15.4%	84.6%	34.0%	5.2%
3 岩手県	48.0%	26.2%			62.4%	13.2%
4 宮城県	37.8%	12.1%	38.5%	61.5%	36.5%	5.0%
5 秋田県	36.2%	6.9%	40.0%	60.0%	36.1%	10.1%
6 山形県	34.2%	22.3%	14.3%	71.4%	34.7%	11.2%
7 福島県	30.9%	5.6%	66.7%	20.0%	38.5%	7.1%
8 茨城県	33.6%	9.6%	11.1%	88.9%	26.5%	7.1%
9 栃木県	33.6%	7.9%			30.6%	4.5%
10 群馬県	43.2%	15.1%	26.7%	46.7%	64.4%	5.7%
11 埼玉県	29.0%	6.7%	36.7%	55.1%	37.7%	6.0%
12 千葉県	30.7%	17.4%	10.7%	83.9%	30.0%	10.6%
13 東京都	33.3%	13.8%	19.2%	46.2%	35.5%	13.1%
14 神奈川県	37.7%	11.9%	17.4%	69.6%	41.3%	14.9%
15 新潟県	32.1%	10.6%	24.2%	63.6%	22.6%	6.8%
16 富山県	28.0%	22.4%	40.6%	50.0%	44.4%	18.7%
17 石川県	42.0%	7.2%			45.2%	6.4%
18 福井県	34.6%	23.8%	25.0%	68.8%	11.3%	26.1%
19 山梨県	53.3%	8.2%	0.0%	100.0%	52.3%	9.1%
20 長野県	33.8%	5.4%	14.3%	42.9%	35.5%	5.3%
21 岐阜県	47.1%	14.5%	75.0%	25.0%	47.6%	15.9%
22 静岡県	38.7%	13.3%	22.2%	70.4%	43.3%	12.2%
23 愛知県	24.0%	11.3%	4.8%	90.5%	25.0%	6.9%
24 三重県	34.3%	8.6%	59.4%	40.6%	44.1%	6.1%
25 滋賀県	28.8%	10.8%			30.5%	12.8%
26 京都府	19.9%	8.0%	100.0%	0.0%	29.9%	11.1%
27 大阪府	29.6%	5.2%	41.0%	45.7%	21.0%	4.6%
28 兵庫県	70.2%	17.1%	44.1%	50.0%	61.2%	12.5%
29 奈良県	41.5%	10.6%	0.0%	95.0%	13.5%	12.8%
30 和歌山県	56.1%	12.2%	60.0%	30.0%	62.5%	9.2%
31 鳥取県	41.7%	19.9%			28.9%	3.3%
32 島根県	24.8%	4.5%	66.7%	33.3%	14.3%	2.4%
33 岡山県	69.5%	17.6%	50.0%	50.0%	78.7%	7.3%
34 広島県	33.3%	15.8%	0.0%	75.0%	31.9%	4.4%
35 山口県	40.3%	6.5%	44.4%	50.0%	29.7%	5.2%
36 徳島県	36.3%	21.8%	0.0%	100.0%	31.0%	14.6%
37 香川県	26.7%	7.7%	0.0%	40.0%	22.7%	6.8%
38 愛媛県	52.8%	9.2%			49.5%	10.1%
39 高知県	44.9%	16.1%	20.0%	80.0%	33.8%	17.3%
40 福岡県	31.5%	4.8%	29.6%	37.0%	35.2%	4.8%
41 佐賀県	17.4%	39.7%			46.1%	10.2%
42 長崎県	43.9%	15.3%	64.7%	23.5%	40.5%	3.7%
43 熊本県	43.7%	15.3%	0.0%	100.0%	37.3%	13.6%
44 大分県	40.0%	15.9%	100.0%	0.0%	33.8%	0.8%
45 宮崎県	34.2%	12.8%			34.3%	15.7%
46 鹿児島県	49.2%	9.3%			30.2%	2.7%
47 沖縄県	48.1%	17.6%	52.4%	42.9%	37.4%	9.4%
平均	37.7%	12.7%	33.0%	55.4%	39.0%	9.2%
(H29年度実績値)	34.8%	12.0%	28.7%	56.6%	34.3%	8.9%
(対前年度増減)	2.9%	0.7%	4.3%	▲1.2%	4.7%	0.3%

英語教育に関する小学校・中学校との連携の状況(高等学校)

(H30. 12. 1現在)

	小学校との連携を実施した		中学校との連携を実施した		小学校・中学校との連携の取組内容		
	学校数	割合	学校数	割合	情報交換(指導方法等 についての検討の実施 等)	交流(異校種の授業参等)	その他
1 北海道	51	23.1%	90	40.7%	53	75	12
2 青森県	4	7.7%	10	19.2%	5	9	2
3 岩手県	9	14.1%	22	34.4%	13	18	4
4 宮城県	8	11.6%	17	24.6%	12	13	2
5 秋田県	9	19.1%	20	42.6%	9	20	1
6 山形県	7	16.7%	24	57.1%	20	19	0
7 福島県	4	5.1%	14	17.7%	7	12	2
8 茨城県	9	9.8%	25	27.2%	13	22	5
9 栃木県	5	8.5%	10	16.9%	5	10	3
10 群馬県	6	9.1%	14	21.2%	4	10	8
11 埼玉県	13	9.3%	45	32.1%	22	37	8
12 千葉県	14	10.9%	24	18.8%	13	27	5
13 東京都	33	18.4%	40	22.3%	20	54	8
14 神奈川県	13	8.4%	26	16.8%	19	25	4
15 新潟県	10	12.2%	22	26.8%	15	21	0
16 富山県	1	2.6%	7	18.4%	2	7	0
17 石川県	6	15.0%	16	40.0%	5	14	0
18 福井県	2	7.7%	9	34.6%	6	9	2
19 山梨県	3	10.3%	8	27.6%	4	7	1
20 長野県	6	7.5%	18	22.5%	11	18	3
21 岐阜県	7	11.1%	16	25.4%	7	17	1
22 静岡県	6	6.8%	15	17.0%	12	12	4
23 愛知県	28	17.6%	49	30.8%	34	42	6
24 三重県	6	11.3%	10	18.9%	3	11	4
25 滋賀県	8	18.2%	11	25.0%	9	10	0
26 京都府	9	16.7%	23	42.6%	9	23	4
27 大阪府	9	5.7%	30	19.0%	9	28	7
28 兵庫県	28	19.9%	34	24.1%	30	39	11
29 奈良県	6	17.6%	5	14.7%	3	7	2
30 和歌山県	0	0.0%	8	25.8%	4	7	0
31 鳥取県	5	22.7%	7	31.8%	3	7	2
32 島根県	3	8.6%	17	48.6%	12	12	3
33 岡山県	11	20.8%	25	47.2%	11	21	7
34 広島県	16	18.2%	31	35.2%	17	34	3
35 山口県	10	20.0%	20	40.0%	17	20	1
36 徳島県	4	13.3%	11	36.7%	9	7	3
37 香川県	4	13.3%	8	26.7%	5	7	2
38 愛媛県	2	3.8%	12	23.1%	6	9	0
39 高知県	1	3.1%	7	21.9%	4	6	2
40 福岡県	7	6.9%	21	20.6%	7	20	5
41 佐賀県	6	15.4%	23	59.0%	15	20	1
42 長崎県	10	18.2%	23	41.8%	20	21	4
43 熊本県	6	11.5%	19	36.5%	7	17	5
44 大分県	11	29.7%	24	64.9%	23	17	2
45 宮崎県	3	8.1%	9	24.3%	8	7	3
46 鹿児島県	15	22.1%	33	48.5%	23	23	5
47 沖縄県	3	5.1%	59	100.0%	59	59	3
合計	437	13.0%	1011	30.1%	624	930	160
(H29年度実績値)	422	11.6%	925	27.5%	537	837	146
(対前年度増減)	15	1.4%	86	0	87	93	14